

## 国連子どもの権利委員会 第 79 予備セッション

ジュネーブ、2018 年 2 月

オルガ・ハゾヴァ副委員長：

ありがとうございます、議長。代表団をたいへん温かく歓迎します。そして、我々のためにあなた方が提供して下さった情報をどうも有難うございます。私は、そこに書かれている陳述を知って、意気消沈し、失望したと言わなくてはなりません。私は、家族ならびに代替的養護について、一連の\_\_\_質問\_\_\_があります。なぜ、これほど多くの子どもたちが、その家族から引き離されているのですか。\_\_\_ 裁判所との協議があるということは、全く書かれていません。何故なのですか。とにかく理由を示して下さい。\_\_\_誰も真面目にやらないからですか。家族の世話をする職員が十分にいないからですか。一日の終わりには職員が負担過重で、家族の面倒を見る時間がないからですか。それが唯一の理由ですか？ なぜ、これほど多くの子どもたちが放棄されているのでしょうか、そしてそれは、ただ十代の母親に典型的なのですか、あるいはそれが\_\_\_であるという情報がわかるのですか。私が理解するところでは、\_\_\_という状況を断念する\_\_\_ 十代の母親を変えることは、とても、とてもびくびくするようなことです。家族からの引き離しの意思決定に、裁判所の関与が全くないのは、何故ですか。子供たちが、児童相談所でどのように世話されているかについて、いったい監視はあるのですか。私は、まったくとは言わないまでも、ほとんど監視がないという印象を持っています。私の次の一連の質問は、離婚の場合の子どもとかかわる親権について... (中略) ...有難うございます。

私はコメントいたします。私たちは、大いに発展し、世界中で最も発展した国の一つである日本が、子どもたちを中世のように扱っている、ということに、ただ驚くばかりです。\_\_\_ 私は本当にショックを受けました。